

# 十五年戦争の進行

1927 (昭和2) ~ 28年 [1 山東] 出兵 ([2 田中義一] 内閣) ... [3 東方] 会議開催  
 1928 (昭和3) [4 張作霖] の爆殺事件  
 1931 (昭和6) [5 柳条湖] 事件 → [6 満州] 事変 ([7 十五年] 戦争の開始)  
 1932 (昭和7) [8 五一五] 事件 → 犬養首相暗殺  
 1933年 (昭和8) 日中 (塘沽) 軍事停戦協定 (= 満州事変停戦に)  
 1936 (昭和11) [9 二二六] 事件 ... クーデタ未遂事件  
 → 広田内閣成立 = [10 国策の基準] 決定 → 海外侵略の方向を確定  
 日独防共協定 → 1937日独伊三国防共協定締結  
 [11 1937] (昭和12)年 [12 盧溝橋] 事件 → 日中戦争発生  
 1939 (昭和14) ノモンハン事件 / 第二次世界大戦発生  
 1941 (昭和16) アジア太平洋戦争発生  
 1945 (昭和20) 敗戦 (第二次世界大戦 = 日中戦争・十五年戦争終結)

- 1927 (昭和2)年 [13 田中義一] 内閣 ... [14 積極] 外交への転換  
 1927年 [15 東方] 会議開催 ... 満州における日本権益を實力で守る方針を決定  
 1927~28年 [16 山東] 出兵 (→ 済南事件) = 国民党による中国統一 ([17 北伐]) を妨害  
 1928年 [18 張作霖] の爆殺事件 → 中国東北部 ([19 満州]) を中国本土から分離をめざす。
- [20 1931] (昭和6) 9.18 [21 柳条湖] 事件 (関東軍による南満州鉄道線路破壊事件)  
 → [22 満州] 事変発生 ([23 十五年] 戦争の開始)  
 → 1932 海軍、華中で [24 上海] 事変をおこす  
 関東軍、[25 満州国] 建国を宣言、元清皇帝 [26 溥儀] を執政とする  
 (→ 1934年 皇帝に)  
 → 1932 斎藤内閣、[27 日滿議定書] を締結 = 「満州国承認」(実態は完全な植民地)  
 → 1933 中国側との停戦協定 ([28 塘沽停戦協定]) → 中国「満州国」を [29 黙認] = 満州事変終結
- 軍部、以後も華北侵略をめざす  
 → 1933年2月、熱河作戦 = 華北への侵略開始 → 4月万里の長城をこえる  
 [30 華北分離] 工作を本格化 → 河北省・内モンゴルに傀儡政権樹立 (冀東防共政府・徳王政府)  
 ↓  
 中国での抗日救国運動の高まり、1935年中国共産党による [31 八一] 宣言発表  
 → 1936 [32 西安] 事件 → 国共内戦の停止 = 抗日民族統一戦線の方向へ
- 1936 広田内閣、「[33 国策の基準]」(← 226事件後、成立)

「国策の基準」... 1936年、広田内閣が決定。大陸における日本の地歩の確立と、南方への漸進的進出、ドイツとの提携の強化と、国内の軍備拡張、それにむけての [34 国内「改革」] 実施を表明

「外交刷新」→ ソ連・共産主義を仮想的に [35 ファシズム] 諸国と接近 = 1936 [36 日独防共協定] 締結  
 → 1937 イタリアも加入 (三国防共協定に)

軍部 → 軍事行動を拡大 → 12月南京占領 ([40 南京大虐殺] 事件発生)

- 日中戦争に対する日本側の動き  
 1938 近衛「蒋介石の国民政府を対手とせず」の宣言  
 [41 東亜新秩序] 建設宣言 = 「欧米支配からのアジア解放、日満華三国連帯」を主張  
 1940 南京 [42 汪兆銘] のかいらい政権樹立 (→ 1943 [43 大東亜会議] に参加)
- 中国側の抵抗 = 国民党と共産党との協力体制成立 (← 1936 [44 西安] 事件)  
 = 1937年9月 [45 抗日民族統一] 戦線成立 (第二次国共合作)  
 アメリカ、イギリス、ソ連の支援、共産党軍など [46 民衆] と結合した [47 ゲリラ] 戦展開  
 → 戦争の「泥沼化」 → 日本軍 [48 点と線] の支配に、

[49 南京大虐殺] 事件 (1937)  
 日本軍のゲリラ「大掃討作戦」... 三光作戦 (焼きつくす、奪いつくす、殺しつくす)  
 関東軍 7 3 1 部隊... 捕虜を用いての [50 生体実験]、[51 毒ガス] 戦の実施  
 占領下の中国人 [52 強制連行] → 花岡事件、大江山ニッケル鉱山、ヘロインなど麻薬の販売

- ノモンハン事件と第二次大戦の発生  
 軍部の2つの軍事構想  
 ◎ [53 北進] 論 ([54 陸軍] 中心) ... 「満州」地方を獲得し、北方の [55 シベリア] へ進出、[56 ソ連] との戦いを想定。  
 ◎ [57 南進] 論 ([58 海軍] 中心) ... [59 東南アジア] 方面に進出、対 [60 米英] 戦の準備をすすめる  
 [61 石油] など天然資源の獲得をめざす。[62 米英] との戦いも視野に。
- 1939 [63 ノモンハン] 事件 ... 満蒙国境で [64 ソ連] 軍と衝突、大敗を喫する (← 1938 張鼓峰事件)  
 → 8月ドイツが [65 ソ連] との不可侵同盟を締結 (→ 平沼首相退陣) → 北進論の挫折
1939. 9. 1 [66 第二次世界大戦] 勃発 → 阿部・米内内閣は [67 不介入]、方針軍事同盟には [68 消極的] ヨーロッパ戦局におけるドイツの優勢 ... ヨーロッパ大陸全土を支配、敵は [69 イギリス] のみに  
 ↓  
 1940 第二次近衛内閣、不介入政策変更、独・伊・ソとの連携強化、積極的な南進方針を決定

南進策のねらい  
 1. ドイツと連携し、東南アジアの欧米の植民地を奪い、日本の勢力圏とする。  
 2. 戦争継続に必要な天然資源を確保する。

- 9月 [70 北部仏印] への進駐 仏印とは... フランス領インドシナ 現在のベトナム・ラオス・カンボジア  
 [71 日独伊三国同盟] の締結 = [72 アメリカ] を仮想敵国とする軍事条約  
 ↓
- アメリカ ... 日本への [73 経済制裁] の本格化 = 航空機用ガソリンやくず鉄の輸出禁止

# アジア太平洋戦争

[11937]年 [2 盧溝橋] 事件→日中戦争発生  
 1939(昭和14) ノモンハン事件 / 第二次世界大戦発生  
 1940 9 北部仏印進駐 日米交渉開始 日ソ中立条約  
 1941(昭和16) 独ソ戦開始→関東軍特種演習  
     7 南部仏印進駐→アメリカの石油禁輸 9 東条英機内閣成立  
 [31941]年12月アジア太平洋戦争発生  
 [41945](昭和20) [5ポツダム] 宣言受諾(敗戦)  
 →第二次世界大戦(十五年戦争・日中戦争・アジア太平洋戦争)終了

- 積極的な南進路線の追求(第2次近衛内閣)とアメリカの反発
  - 1940 第二次近衛内閣→9月 [6 北部仏印] への進駐、[7 日独伊三国同盟] の締結  
→アメリカの [8 経済制裁] 本格化=航空機用ガソリンやくず鉄の輸出禁止
  - [9 日米交渉] 開始…民間人交渉→ [10 野村吉三郎] とハル国務長官との間の政府間交渉に
  - [11 日ソ中立] 条約の締結…日ソの結びつきの強化によってアメリカへの圧力を増そうとする
- 1941 [12 独ソ] 戦発生→北進も考えるが、ドイツを期待して南進方針が基本。中国と戦争してるのに?!
  - 陸軍、[13 関東軍特種演習] (関特演) の実施…シベリア国境へ兵力集中
  - 7月2日の御前会議…対米英戦覚悟の南方進出と、情勢有利の場合の対ソ戦実施を決定  
→7月末 [14 南部仏印] への進駐実施  
↓
  - アメリカの反発… [15 在米日本資産の凍結] と対日 [16 石油輸出の禁止] を決定  
→満州を除く中国からの撤兵などを要求、日本の南進阻止を明確化
- 「予想外」?!のアメリカの反発を受け、ドイツに期待して、米英との開戦を決める?!
  - 9月6日の御前会議→ [17 対米英開戦] を決定  
[18 日米交渉] の期限を切り、交渉不成立の時、19 対英米開戦にふみきる
  - 1940 9月 開戦派の [20 東条英機] 内閣成立  
11月 アメリカ、ハル=ノート提出=最後通牒提出
- 対米英開戦→東南アジアや太平洋地域に進出、東南アジアなどを占領下に置く
  - 1941年12月8日、陸軍の英領 [21 マレー] 半島のコタバル上陸と海軍の [22 ハワイ真珠湾] 攻撃  
日本…アメリカ・イギリスに宣戦を布告  
ドイツ・イタリア…アメリカに宣戦を布告(12/11)
  - 日本軍の進出→東南アジア・オセアニアへ→オーストリアとアメリカとの切断を図る
- 戦争目的として [23 大東亜共栄圏] 建設を掲げる=欧米諸国からのアジア解放を主張  
(→1943 [24 大東亜会議] を開催)  
実際は、東南アジア諸地域を軍政下におき、[25 資源収奪]、[26 労働者の徴用] などをおこなう。

また紙幣の代用品である[27 軍票]を発行し、物資を強制的に徴発→[28 インフレーション]発生

東南アジア占領と抵抗運動  
 ア) マレー半島・シンガポール・フィリピンなどで[29 華僑]など一般民衆を多数殺害  
 イ) ヴェトナム…国内での米不足を収奪→大飢饉の発生で多数の犠牲者をだす(100万以上)  
 ウ) [30 泰緬] 鉄道建設で連合軍捕虜や現地住民を酷使、45000人の死者を出す  
 アジア民衆…当初は歓迎、しだいに反発、抵抗姿勢を強める([31 抗日運動]の発生)  
 ア) ベトナム…[32 ホーチミン]らベトナム独立同盟(→フランスからの独立運動の中心に)  
 イ) ビルマ(ミャンマ)…反ファシスト人民解放連盟([33 アウンサン] 将軍ら)  
 ウ) インドネシア…[34 スカルノ]らインドネシア政治同盟  
 →日本軍と結び、オランダからの独立を準備

- 戦局の悪化と敗戦
  - 海軍 [35 ミッドウェー] 海戦で大敗(42/6)、陸軍 [36 ガダルカナル] 島の戦いで敗れ撤退(43/2)  
→しだいに [37 制海権] [38 制空権] を失う→ [39 絶対国防圏] の設定=防衛ラインの後退
  - 44/7 [40 サイパン] 島陥落(→日本本土が空襲圏内に)  
→責任をとって [41 東条英機] 内閣総辞職、小磯内閣成立
  - 44/10 米軍、フィリピン・レイテ島に上陸、海軍・レイテ島の海戦で敗北(→事実上、海軍壊滅)  
→ [42 特攻機] による攻撃を開始
  - 45/4 米軍 [43 沖縄本島] に上陸=多くの非戦闘員がまきこまれる
  - 米空軍による本土空襲→1945、3、10 [44 東京大空襲] =人口密集地への焼夷弾の無差別爆撃
  - ヨーロッパ戦線の終焉 1943/9 イタリア降伏 1945/5 ドイツ降伏
- 連合軍の対日政策
  - 1943(S18)11月 [45 カイロ] 会談…米・英・[46 中国] 首脳による  
連合軍の対日政策の基本決定、第一次大戦前の状態に  
朝鮮の独立、満州・台湾など中国返還など
  - 1945 (S20) 2月 [47 ヤルタ] 会談…米・英・ソ  
3ヶ月後の [48 ソ連] の対日宣戦決定、条件としての南樺太・千島列島の譲渡
  - 1945(S20)7月 [49 ポツダム] 会談→ポツダム宣言発表(米・英・中・のちソ)
 

|                       |                                   |
|-----------------------|-----------------------------------|
| 1) 軍国主義の除去            | 2) 戦争犯罪人の処罰、民主主義の復活強化、自由と基本的人権の尊重 |
| 3) 平和的政府の樹立、そのための軍事占領 | 4) 無条件降伏の要求                       |

 →日本、黙殺を表明→連合軍側、受諾拒否と理解
- 敗戦
  - 1945.8.6 [50 広島] ・8.9 [51 長崎] に原子爆弾を投下
  - 1945.8.8 [52 ソ連]、日ソ中立条約を破棄し対日宣戦→満州・朝鮮に侵入
  - 1945/8/14 日本政府、国体護持(天皇制維持) を条件に [53 ポツダム] 宣言受諾を決定  
→ [54 8月15日] 天皇、ラジオ放送で国民に終戦を伝える ([55 玉音放送])  
9月2日 東京湾上の軍艦において降伏文書への署名
- 戦争の被害  
太平洋戦争のみ 日本軍人・軍属=死者 [56 230] 万人 一般国民=死者 [57 80] 万人  
15年戦争全体でのアジア全体の被害者 [58 2000] 万人を越える